



認証番号0000067

環境経営レポート

自2022年4月 ～ 至2023年3月



目次

ページ

■会社概要	2
■認証登録の対象組織・活動	2
■環境経営方針	3
■経営理念、経営指針、行動指針、セイロ15S	4
■環境経営実施体制と役割	5
■過去4年間の環境経営実績	6
■中期環境経営目標	7
■環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価 及び次年度の取組内容	8
■次年度の環境経営目標及び環境経営計画	14
■環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	15
■代表者による全体評価と見直しの結果	15



株式会社セイロモータース



2023年6月30日発行

■ 会社概要

1 会社名及び代表者氏名

株式会社セイロモータース
代表取締役 紙谷 辰雄

2 設立 昭和28年7月20日

3 資本金 9,000万円

4 事業活動の内容

サービス部門	自動車整備（車検・修理・钣金）
車 販 部 門	新車・中古車販売、リース・レンタカー
保 險 部 門	損害・生命保険代理店

5 事業の規模

	厚木本店	北海道支店	西東京支店	大阪支店	合計
売上高(百万円)	251	93	152	160	659
従業員数（人）	24	7	9	12	52
敷地面積（㎡）	2,760	2,242	596	564	6,162
床 面 積（㎡）	1,221	491	364	496	2,572

6 所在地及び認証登録範囲

本社・厚木本店	神奈川県厚木市岡田2丁目13番52号
北海道支店	北海道札幌市北区新川4条20丁目1番35号
西東京支店	東京都東村山市秋津町3丁目50番6号
大阪支店	大阪府豊中市勝部1丁目8番12号

7 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	： 本社 管理部長	岸川 貞夫
担当者	： EA21推進事務局 推進リーダー	佐藤 善浩
連絡先 電話	046-226-6891	FAX 046-220-5212
e-mail	kishikawa@saeilo-motors.co.jp	

■ 認証登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社セイロモータース
所在地	神奈川県厚木市岡田2丁目13番52号
事業活動	自動車整備、販売及び保険代理店業
対象事業所	本社・厚木本店、北海道支店、西東京支店、大阪支店
認証登録番号	0000067
認証登録日	2004年11月30日

■ 環境経営方針

基本理念

当社は、地球環境に配慮した持続的循環型社会の実現が、世界共通の課題であることを認識し、環境経営方針を定めて、環境経営の継続的取組と改善を推進します。

行動指針

1. 省資源・省エネルギー活動の推進

事業所内の整理・整頓・清掃・清潔に留意し、事業活動に於ける電力・紙・水等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の削減等環境負荷の低減に努めます。

2. エコカー・エコ整備等による有害排出ガスの低減

低燃費・低排出ガスなど環境に配慮した商品やサービスを提供することでお客様と連携した環境保全活動を推進します。

3. リサイクル活動による省資源化の推進

リサイクル部品の使用推進及びグリーン購入の推進に努めます。

4. 廃棄物の削減・分別処理

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。

5. 化学物質の効率的使用と適性管理

使用する塗料や溶剤等、化学物質の適性管理に努めます。

6. 環境に関する法令遵守

環境に関する法令等及びその他の同意する要求事項を遵守します。

7. 環境経営方針の周知徹底

環境経営方針は、全従業員に周知・徹底すると共に社外にも公表します。

以上、上記の取組内容を誓約致します。

2004年3月1日制定

2019年3月1日改定

株式会社セイロモータース

代表取締役 紙谷 辰雄

■ 経営理念

『為に生きる精神』をもとに、真の地球村づくりに貢献する。

■ 経営指針

1. お客様と共に喜びと感動を分かち合い、共に繁栄する企業を目指す。
2. 人と地球にうれしい、豊かなカーライフの提案をする。
3. 地域の活性化から社会へと、グローバルな観点で文化発展に貢献する。
4. 常に新しい技術やシステムを導入し、創造的な新規事業に挑戦する。
5. 社員に自己実現の場を提供し、活力にあふれた革新的な風土をつくる。

■ 行動指針

1. お客様の立場で考えよう！
2. 車のことなら私にまかせろ！
3. いつも励んで世界にはばたけ！
4. 遊んで学んで、何でもチャレンジ！
5. 明るく元気に自己実現！

■ セイロ15S

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 整 理 | 2. 整 頓 | 3. 清 掃 | 4. 清 潔 | 5. 躰 |
| 6. 作 法 | 7. 清 楚 | 8. 素 直 | 9. 親 切 | 10. 誠 実 |
| 11. 信 用 | 12. 真 剣 | 13. 正 義 | 14. 辛 抱 | 15. スマイル |



(厚木本店)
関東運輸局長表彰受賞
2011年10月26日

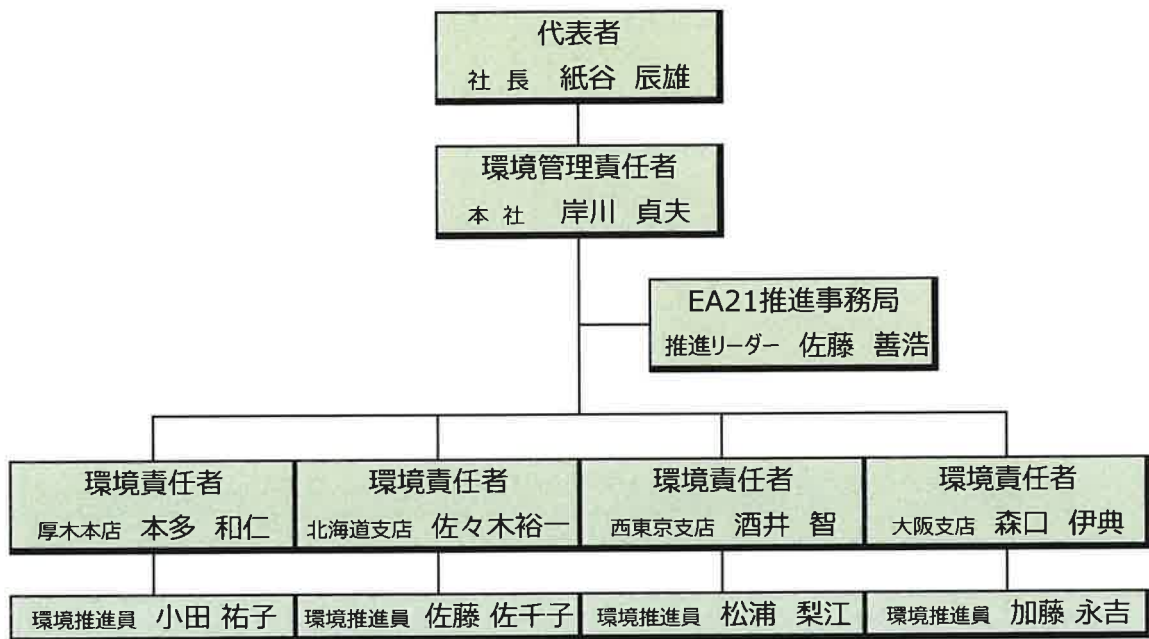


エコアクション21
認証・登録 10年継続記念
2015年度



(大阪支店)
近畿運輸局長表彰受賞
2015年2月23日

■ 環境経営実施体制と役割



代表者	・環境管理責任者及び環境責任者の任命 ・環境経営方針の制定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営実施体制の構築及び全従業員への周知 ・環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの確立、実施および維持するための最高責任者 ・推進機関であるEA21事務局の責任者として事務局運営 ・環境経営システムの教育・訓練の計画・実施するための最高責任者 ・環境関連法規等取りまとめ表を承認 ・環境目標、環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	・環境管理責任者を補佐し、全員参画によるEA21の運営推進 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開
環境責任者	・環境経営システムの実施および環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の計画と実施 ・環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応のための訓練の実施、記録作成 ・問題点の発見、是正、予防措置の実施
環境推進員	・環境活動の実績集計及び環境責任者の補佐
全従業員	・環境経営方針を理解し、自主的・積極的に環境活動に参加

■ 過去4年間の環境経営実績

1 環境活動への取組実績

項 目		単 位	実績 2019年度	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度
二酸化炭素	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	182,561	179,871	172,039	157,033
		%	対前年増減率	-1.5%	-4.4%	-8.7%
	電力使用量	kwh	158,155	161,183	159,054	149,211
		%	対前年増減率	1.9%	-1.3%	-6.2%
	ガソリン及び軽油使用量	ℓ	31,253	31,406	29,497	25,698
		%	対前年増減率	0.5%	-6.1%	-12.9%
廃棄物	廃棄物排出量	kg	77,864	70,935	67,875	60,819
		%	対前年増減率	-8.9%	-4.3%	-10.4%
水	水使用量	m ³	1,559	1,429	1,290	1,149
		%	対前年増減率	-8.3%	-9.7%	-10.9%
商品	エコ車検実施台数	台	441	428	381	394
		%	対前年増減率	-2.9%	-11.0%	3.4%
	エコカー販売台数	台	45	46	52	36
		%	対前年増減率	2.2%	13.0%	-30.8%
部品	リサイクルパーツ購入割合	%	7.8	7.9	7.4	7.2
		P	対前年増減P	1.0P	-0.6P	-0.2P
有害	化学物質の使用量の削減	kg	920	862	882	906
		%	対前年増減率	-6.3%	2.3%	2.7%

※2018年度より各社調整後排出係数を使用

2 経済活動への取組実績

項 目		単 位	実績 2019年度	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度
売上高	総売上高	千円	704,178	718,482	688,599	658,752
		%	対前年増減率	2.0%	-4.2%	-4.3%
	整備売上高	千円	435,125	430,736	414,615	412,004
		%	対前年増減率	-1.0%	-3.7%	-0.6%
台数	総取扱い台数	台数	22,398	21,219	20,526	18,439
		%	対前年増減率	-5.3%	-3.3%	-10.2%

■ 中期環境経営目標

1 環境活動への取組目標

項 目			基準年	目標	目標	目標
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	157,033	155,463	153,892	152,322
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
	電力使用量	kwh	149,211	147,719	146,227	144,735
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
	ガソリン及び軽油使用量	ℓ	25,698	25,441	25,184	24,927
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
廃棄物	廃棄物排出量	kg	60,819	60,211	59,603	58,994
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
水	水使用量	m ³	1,149	1,138	1,126	1,115
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
商品	エコ車検実施台数	台	394	398	402	406
		%	増加率	1%	2%	3%
	エコカー販売台数	台	36	47	50	54
		%	増加率	30%	40%	50%
部品	リサイクルパーツ購入割合	%	7.2	7.7	8.2	8.7
		P	増加P	0.5P	1.0P	1.5P
有害	化学物質の使用量の削減	kg	906	897	888	879
		%	削減率	-1%	-2%	-3%

※各社調整後排出係数を使用

2 経済活動への取組目標

項 目			基準年	目標	目標	目標
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	総売上高	千円	658,752	691,690	711,452	724,627
		%	増加率	5.0%	8.0%	10.0%
	整備売上高	千円	412,004	432,604	444,964	453,204
		%	増加率	5.0%	8.0%	10.0%
台数	総取扱い台数	台数	18,439	18,623	18,808	18,992
		%	増加率	1.0%	2.0%	3.0%

■ 環境活動の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

1 二酸化炭素排出量の削減

単位 : kg-CO₂

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
172,039	170,319	157,033	◎
削減率	-1%	-8.7%	
環境活動項目			結果
■ 排出係数が低い電力会社への契約見直し			◎
■ 電力使用量及びガソリン・軽油使用量の削減			◎
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2022年度の取組結果	電気使用量及びガソリン使用料の減少とともに、二酸化炭素排出量は8.7%大幅に減少した。		
2023年度の取組目標	継続取組実施 ◆2022年度を基準に1%削減 155,463 kg-CO ₂ 目標		



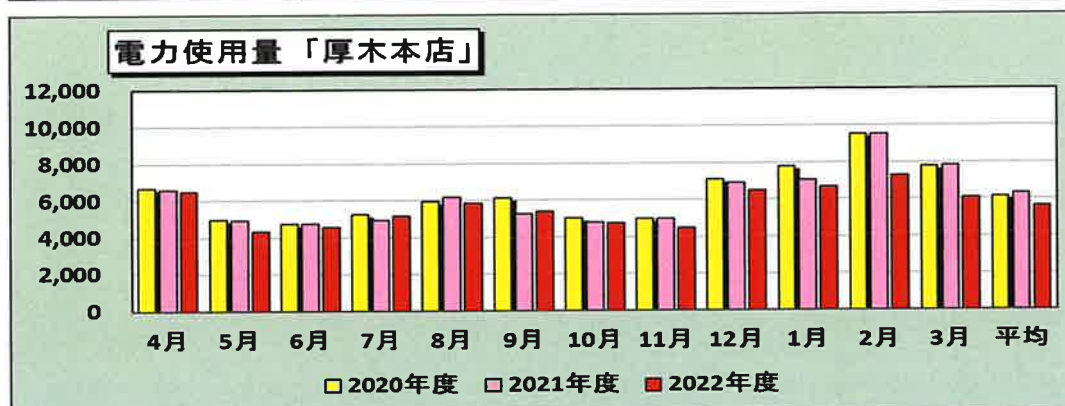
Co2排出量 年度推移

	2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度		
	実績	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	前年差	累計差異
電力	89,499	95,490	5,991	91,932	-3,558	82,762	-9,170	78,545	-4,217	-10,954					
ガソリン	68,613	62,872	-5,741	60,641	-2,231	57,170	-3,471	49,602	-7,568	-19,011					
軽油	10,252	10,716	464	13,590	2,874	12,524	-1,066	11,140	-1,384	888					
灯油	12,963	13,120	157	13,301	181	19,171	5,870	17,372	-1,799	4,409					
LPGガス	321	364	43	407	43	412	5	374	-38	53					
合計	181,648	182,562	914	179,871	-2,691	172,039	-7,832	157,033	-15,006	-24,615					

2 電力使用量の削減

単位 : kwh

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
159,054	157,463	149,211	◎
削減率	-1.0%	-6.2%	



環境活動項目	結果
■ 工場内照明時間の短縮及び屋外照明の消灯PM6:30	◎
■ エアコン設定温度の適性化 冷房25度（事務室28度）、暖房20度	◎
■ 業務改善による残業時間の削減	○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	
2022年度の実績結果	前年に引き続きコロナ禍の中、稼働時間が減少し、残業時間の削減とともに電気使用量が-6.2%に減少した。
2023年度の実績目標	在庫管理システムの運用定着 作業員確保と継続的業務改善実施 ◆2022年度を基準に1%削減 147,719 kwh目標

電力使用量年度別実績

単位 : kwh

	2018年度	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
	実績	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	累計差異
厚木本店	77,306	73,701	-3,605	75,858	2,157	73,624	-2,234	67,403	-6,221	-9,903
北海道支店	27,339	28,494	1,155	31,937	3,443	32,999	1,062	29,155	-3,844	1,816
西東京支店	21,668	21,301	-367	21,463	162	20,638	-825	19,066	-1,572	-2,602
大阪支店	34,747	34,659	-88	31,925	-2,734	31,793	-132	33,587	1,794	-1,160
合計	161,060	158,155	-2,905	161,183	3,028	159,054	-2,129	149,211	-9,843	-11,849

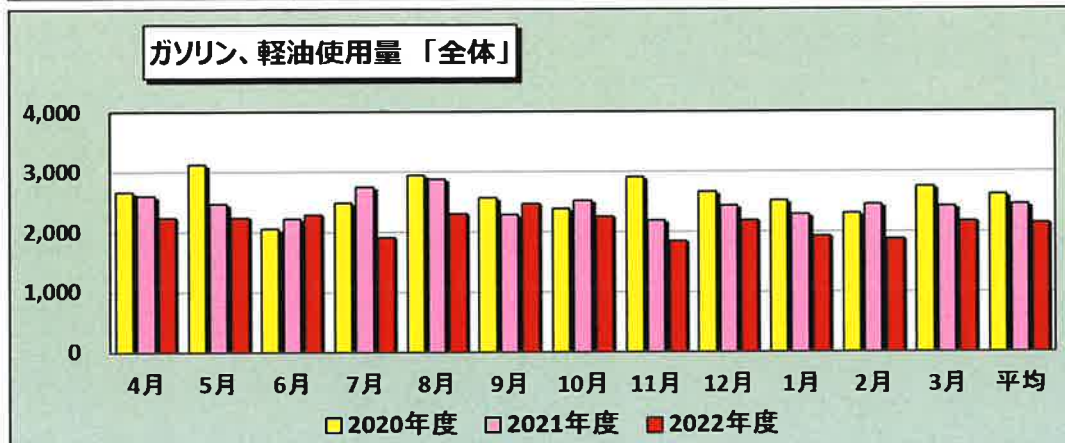
電力会社移行状況

	会社名	調整後排出係数	移行年月	会社名	調整後排出係数
厚木本店	シナデン	0.570	2020年10月	東京電力長期契約	0.441
北海道支店	Loop	0.601		Loop	0.544
西東京支店	東京電力長期契約	0.462		東京電力長期契約	0.441
大阪支店	イーレック	0.765	2020年7月	イーバ・グリーン・リテイリング	0.731

3 ガソリン及び軽油使用量の削減

単位：ℓ

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
29,497	29,202	25,698	◎
削減率	-1%	-12.9%	



環境活動項目	結果
■エコドライブの実施	○
■営業車のエコ整備点検と低燃費車両への入替促進	○
■来店型店舗への顧客誘致	○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	
2022年度の実績結果	取扱い台数が減少し、ガソリン使用量は-12.9%に減少した。 ※取扱台数当り 2021年1.437ℓ 2022年1.394ℓ
2023年度の実績目標	継続実施 ◆2022年度を基準に1%削減 25,441 ℓ 目標



<防災訓練の実施> 厚木本店 2022年9月8日

4 廃棄物排出量の削減

単位 : kg

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
67,875	67,196	60,819	◎
削減率	-1%	-10.4%	
環境活動項目			結果
■ 廃棄物の実績管理と分別回収			◎
■ 廃棄物の再利用			◎
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2022年度の実績結果	廃棄物の分別回収及び再利用は継続的に実施できた。また、整備車両台数の減少により産業廃棄物量は-10.4%に減少した。		
2023年度の実績目標	廃棄物の再利用を徹底する。 ◆2022年度を基準に1%削減 60,211 kg目標		

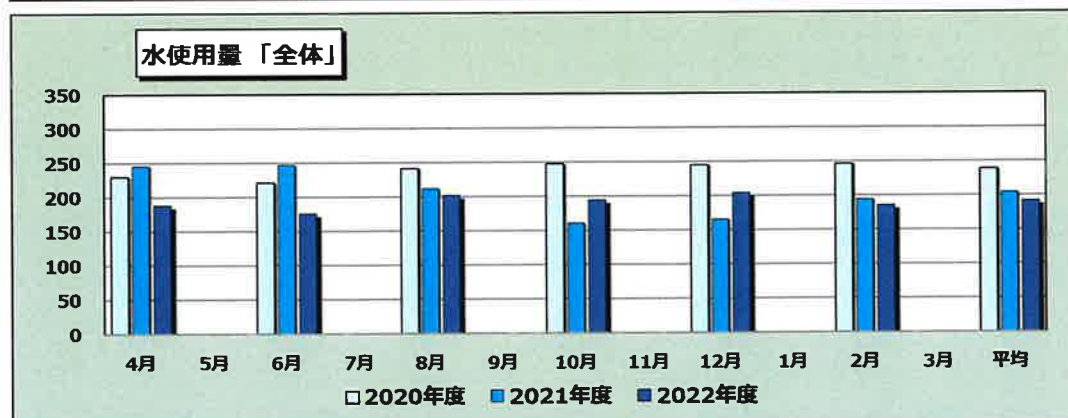


ごみの分別（空きビン、ペットボトル、空き缶）

5 水使用量の削減

単位 : m³

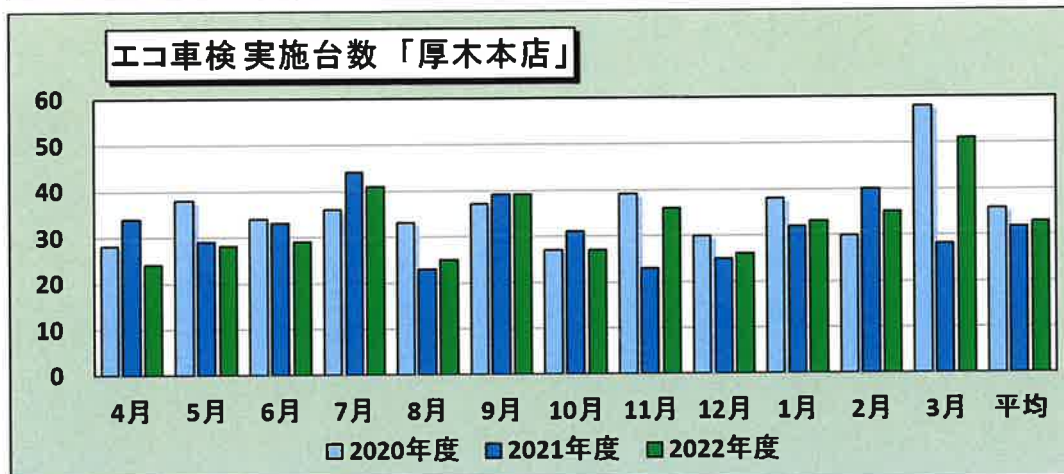
2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
1,290	1,277	1,149	◎
削減率	-1%	-10.9%	



環境活動項目	結果
■ 洗車時の節水に取り組む。	◎
■ 社内清掃時の節水に取り組む。	◎
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	
2022年度の実績結果	取扱い台数が減少したことにより洗車台数も減少した。 ※取扱い台数当り 2021年度0.063ℓ 2022年度0.062ℓ
2023年度の実績目標	継続実施 ◆2022年度を基準に1%削減 1,138 m³目標

6 エコ車検（環境汚染防止整備）の実施台数

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
381	385	394	◎
増加率	1.0%	3.4%	



環境活動項目		結果
■ 未実施車輛の訴求		○
■ 一般個人顧客の入庫促進強化		◎
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった		
2022年度取組結果	一般個人顧客の入庫促進を重点課題として改善に取り組み、エコ車検の実施台数は前年対比3.4%（13台）増加した。	
2023年度取組目標	一般個人顧客の入庫促進と入庫受入れ体制の確保 ◆2022年度を基準に1%アップ 398 台目標	

※環境汚染防止整備は、エンジン燃焼室の洗浄により、CO(一酸化炭素)やHC(炭化水素)などの有害排気ガスの減少、燃費改善、性能回復、アクセルレスポンスの改善を実現させます。

エンジンを分解しなくても
新車時の性能がよみがえる

BEFORE **AFTER**

お客様から「良かった」と褒めてもらえる車検サービスを提供できます

燃費改善 **静寂性UP** **性能回復**



※財団法人かながわトラストみどり財団を通して、募金活動およびエコ車検の実施台数に応じて緑化事業に寄付行為を行なっています。

※ご利用頂いたお客様には
「緑の羽根」をお渡ししています。



7 エコカー販売台数

単位：台

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
52	57	36	×
増減率	9.6%	-30.8%	
環境活動項目			結果
■新車(低燃費エコカー)販売促進			○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2022年度取組結果	新車納期遅れ等により販売台数が大幅に減少した。 2020年度46台、2021年度 52台、2022年度36台		
2023年度取組目標	ジョイカルFC加盟により、新車カーリース販売強化 ◆2022年度を基準に30%アップ 47 台目標		

8 リサイクルパーツの購入割合アップ

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
7.4%	8.3%	7.2%	△
増減ポイント	0.5P	-0.9P	
環境活動項目			結果
■お客様への積極的アプローチを実施			○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2022年度取組結果	お客様のニーズの高まりと訴求効果改善もあったが、事故钣金の入庫台数減少により全体の購入割合は若干減少した。		
2023年度取組目標	事故钣金の入庫ルート確保拡大を推進する。 ◆2022年度を基準に0.5Pアップ 7.7% 目標		

9 化学物質の削減と適性管理

単位 kg

2021年度 基準	2022年度 目標	2022年度 実績	達成区分
882	873	906	×
削減率	-1.0%	2.7%	
環境活動項目			結果
■塗料の適性管理と塗装技術の向上			○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2022年度取組結果	钣金売上増加とともに、使用量も増加している。 ※売上高千円当たりでは若干減少した。 2021年度0.0132kg / 2022年度0.0123kg		
2023年度取組目標	塗料の適性管理とさらなる塗装技術の向上。 ◆2022年度を基準に1%削減 897 kgを目標とする。		

世界の子どもたちにワクチン支援



エコキャップ回収（5,800 g 2,320個）2022.7.12

■ 2023年度 環境経営目標及び環境経営計画

1 二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→1%削減 2022年度 157,033 kg-CO ₂ 2023年度 155,463 kg-CO ₂	1.電気使用量の削減 2.燃料使用量の削減(ガソリン、軽油)	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

2 電気使用量削減

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→1%削減 2022年度 149,211 kwh 2023年度 147,719 kwh	1.昼休みの工場内照明清灯 2.ロッカー、食堂内未使用時消灯 3.エアコン設定温度 (夏25度・冬20度) 4.コンプレッサー作業後OFF 5.屋外照明は18時30分消灯	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 季節ごとに実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

3 ガソリン・軽油使用量

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→1%削減 2022年度 25,698 ㍓ 2023年度 25,441 ㍓	1.エコドライブの実行 2.アイドリングストップの実行 3.社用車の定期点検エコ整備の実施 4.社用車にエコドライブ10ポイント設置随時確認 5.社用車を低燃費車種へ代替促進	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

4 廃棄物

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→1%削減 2022年度 60,819 kg 2023年度 60,211 kg	1.ゴミの分別管理 2.コピー用紙裏紙使用 3.報告書の電子化	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

5 水使用量

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→1%削減 2022年度 1,149 m ³ 2023年度 1,138 m ³	1.洗車時の節水に取り組む 2.社内清掃時の節水に取り組む	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

6 エコクリーン整備

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→ 1%増 2022年度 394 台 2023年度 398 台	1.一般個人顧客の入庫促進と受入れ体制の確保 2.エコ整備・エコ車検のメリット(環境対策、燃費向上 パワーアップ等)をユーザーへ説明する	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

7 エコカー販売(新車及び新規登録の新古車含む)

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→ 30%増 2022年度 36 台 2023年度 47 台	1.エコカー(新車・新古車)へ買換え促進アプローチ 2.新車カーリース販売強化 3.ジョイカルFC加盟サブスク販売強化	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 下半期実施強化

8 リサイクルパーツ購入割合

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度) → 5Pアップ 2022年度 7.2 % 2023年度 7.7 %	1.お客様へリサイクルパーツを積極的にアプローチ する	年間通じて毎日実施

9 化学物質の削減

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2022年度)→1%削減 2022年度 906 kg 2023年度 897 kg	1.塗料の適正管理 2.OJTによる塗装技術の向上	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

■ 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属クズ、廃プラ、廃油等）
騒音・振動規制法	自動車、コンプレッサー7.5kw届出
水質汚濁防止法	自動式門型洗車機
消防法（危険物）	シンナー、灯油、オイル
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メタノール等
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	アイドリングストップ
札幌市生活環境の確保に関する条例	アイドリングストップ
東京都環境確保条例	アイドリングストップ
豊中市環境の保全等の推進に関する条例	アイドリングストップ

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

■ 代表者による全体評価と見直しの結果

（1）環境活動の評価

- ◆一般個人顧客の入庫促進を重点課題として改善に取り組み、エコ車検の実施台数が前年対比3.4%（13台）増加した。しかし、整備士経験者の採用は厳しく人材確保出来なかった。
 - ◆新車販売は、半導体不足などによる新車納期遅れにより登録できず販売台数が前年対比30.8%（16台）減少した。
- また、NEWCARマッチ情報サイト掲載は期待する新車成約が見込まれないため撤退する。

（2）見直しの結果

- ◆整備士要員の採用・育成は企業経営存続にかかわる重点課題である。採用の間口を広げて採用活動の改善を図り人材育成のための教育体制を整えていく。
- ◆新車販売は、ジョイカルFCに加盟してカーリースの販売強化に取り組み30%アップを目標とする。
- ◆2023年度は、引き続きSDG'sパートナーとして社会的責任を果たし、社員モチベーションのアップとともに、経営理念の実現に向け取り組んでいく。



「かながわ地球環境賞」受賞

2019年2月6日